

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 山野義友
 (J A S D A Q コード番号 7571)
 問い合わせ先 取締役専務執行役員
 管理本部長 金 木 俊 明
 電 話 番 号 0 3 - 3 3 7 6 - 7 8 7 8

連結業績予想と実績値との差異及び
 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成26年11月13日付「平成27年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に公表しました、平成27年3月期の連結業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせします。また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、個別決算における当事業年度の実績値が前事業年度の実績値から一定以上変動しましたので併せてお知らせいたします。

記

●連結業績予想と実績値との差異について

平成27年3月期連結業績予想との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,400	350	310	240	6.96
今回実績(B)	23,168	116	83	178	5.17
増減額 (B - A)	△232	△234	△227	△62	—
増減率 (%)	△1.0	△66.9	△73.2	△25.8	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	24,783	567	551	320	9.03

●個別業績の前期実績値との差異について

平成27年3月期通期個別業績の前期実績値との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期(平成26年3月期) 実績(A)	10,396	236	224	383	10.86
当期(平成27年3月期) 実績(B)	13,090	267	260	△252	△7.32
増減額 (B - A)	2,694	31	36	△635	—
増減率 (%)	25.9	13.1	16.1	—	—

差異の理由

【連結】

売上高につきましては、下期の卸売事業における売上高が不振であったことを主因として 232 百万円の減少となりました。卸売事業では、上期より引き続き地方百貨店での売上が低調に推移し、大型催事においても集客が不振であったことによる売上高減少に加え、円安進行により仕入原価が上昇し、利益率が低下いたしました。また、スポーツ事業のウィンター商戦においては、ギア売上は堅調であったもののウェア販売が他社との競争激化等に伴い苦戦をしたこと等もあり、営業利益、経常利益が減少いたしました。当期純利益につきましては、第3四半期における連結子会社同士の合併に伴う少数株主損失の計上 159 百万円等があったものの、事業用資産の収益性の低下による減損損失を 74 百万円計上したこともあり、業績予想に比べて 62 百万円減少となりました。

【個別】

売上高及び営業利益、経常利益につきましては、スポーツ事業での消費増税前の駆け込み需要の反動減や夏季の天候不順、旗艦店での大雨土砂災害影響等による収益減少があり、また、DSM事業においては拠点減少に伴う収益減少等があったものの、平成 26 年 7 月 1 日付で和装小売事業を営む連結子会社のHMリテーリングス株式会社を吸収合併したことにより、前期に比べて増加しております。当期純利益につきましては、前期は不動産売却に伴う固定資産売却益の計上 43 百万円及び関係会社清算益の計上 36 百万円があったことや、当期においてはHMリテーリングス株式会社の吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差損の計上 491 百万円があったこと、事業用資産の収益性の低下による減損損失を 42 百万円計上したこと等により、前期に比べて 635 百万円減少しております。

以 上